

かかりつけ医に認知症の 相談をしても大丈夫？

Q 認知症の不安を、かかりつけ医に相談してもよいのでしょうか。

A **かかりつけ医には何でも相談可。
専門医の前に気軽に受診を。**

かかりつけ医とは、健康について何でも相談でき、必要に応じて専門医や医療機関を紹介してくれる身近な医師のこと。**信頼できるかかりつけ医がいる人なら、自分や家族に認知症の疑いがある場合も、まずは相談してみるとよいでしょう。**

認知症は生活習慣が大きく影響するため、普段の健康状態や人柄などをすでに知っているかかりつけ医であれば、症状や原因に気づきやすいとも言えます。

ただし認知症の症状は、自然な老化現象や他の病気の影響などとの見分け



指導 うら かつや
浦上克哉

鳥取大学医学部
認知症予防学講座・教授、
日本認知症予防学会代表理事

がつきづらく、認知症に詳しくない医師では見誤る可能性もあります。かかりつけ医が診断できなかったり、診断に不安がある場合などは、詳しい検査のできる専門医の診断を受けたほうがよいでしょう。

相談を受けたかかりつけ医が「専門医の検査が必要」と判断した場合、適切な医療機関を紹介してくれたり、診断と治療方針の決定は専門医、日常の診療はかかりつけ医といった連携をしてくれたりするケースもあります。

専門医のいる診療科は、精神科や神経内科、老年科などです。かかりつけ医の紹介であれば心配

ありませんが、これらの診療科でも実際には認知症を診ていないケースはあり、もし自分で予約する場合、認知症に対応できるかどうかを必ず確認する必要があります。

増え続ける認知症の患者数に対して専門医は非常に少数で、2〜3カ月前から予約が必要な医療機関もあります。また、いきなり専門医に診てもらうのは緊張するという人や、専門の医療機関が遠いという人にとっても、かかりつけ医は頼もしい存在と言えるでしょう。

認知症に対応できるかかりつけ医がいない人は、地域包括支援センターなどに相談するとよいでしょう。

かかりつけ医をもつメリット

かかりつけ医とは

健康に関することを何でも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介してくれる、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師。

かかりつけ医に期待される役割

受診・相談がしやすい

専門医の予約がなかなか取れない人、慣れない専門医だと緊張してしまう人、専門の医療機関が遠い人などが、まずは手軽に受診・相談できる。

早期発見が期待できる

日頃の状態をよく知っているため、ちょっとした体調の変化や言動のおかしさに気づきやすく、認知症を早期発見できる可能性が高まる。

専門医の紹介・連携ができる

認知症の専門医がいる医療機関を紹介したり、かかりつけ医が窓口となって専門医と連携したりできる。

参考：厚生労働省ウェブサイト「上手な医療のかかり方.jp」(https://kakarikata.mhlw.go.jp/kakaritsuke/motou.html) より